



本社・工場

第57期

第2四半期決算のご報告

平成20年8月21日～平成21年2月20日



 福島印刷株式会社

〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地
TEL(076)267-5111(代) FAX(076)267-8065
URL <http://www.fuku.co.jp/>



C906

Communication Agent for Market Driven

私たちは常にお客様と同じ視点に立ち、
エンドユーザーである「市場」を見つめながら
情報発信をお手伝いするパートナーとして、
存在価値を発揮してまいります。
そして、コミュニケーションの背後に生まれる
『長期信頼』を果敢に追い求めます。

福島印刷株式会社
証券コード 7870



ふくしまみちお
代表取締役社長 福島理夫

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、第57期第2四半期（平成20年8月21日から平成21年2月20日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、金融危機に端を発した世界経済の混乱や、急激な株価急落と円高の進行により、景況感は急速に後退いたしました。また、雇用や消費にも深刻な影響が現れ、経済の先行きにより一層不透明感が増してまいりました。

印刷業界におきましては、受注競争激化による受注単価下落に加え、景気減速に伴う得意先の広告費抑制、IT化の進展による紙媒体の減少等により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境下におきまして、当社は、独自技術による「ならでは」商品と「ならでは」サービスの開発に注力し、市場ニーズに適応した企画提案活動を推進してきました。設計部門においては営業及び生産部門との連携を緊密に行い、設計力を強化し、つくる前のコストダウンを

図るなど「ポジティブ設計」に取り組んできました。また、昨年11月に高速インクジェットプリンタを新設し、DPサービス分野の生産能力拡大を図りました。

しかしながら、IT化に伴う需要減、得意先の広告宣伝費の抑制、原材料価格の上昇等により、当第2四半期累計期間は売上高25億36百万円（前年同期比 9.5%減）、営業損失57百万円、経常損失65百万円、四半期純損失は1億8百万円と減収減益となりました。

わが国経済の今後の見通しにつきましては、金融不安、雇用不安の収束には時間がかかることが予想され、予断を許さない状況が続くものと考えられます。

また、印刷業界におきましては、引き続き原材料価格の高止まりや受注競争の激化など厳しい経営環境が続くことが予測されます。

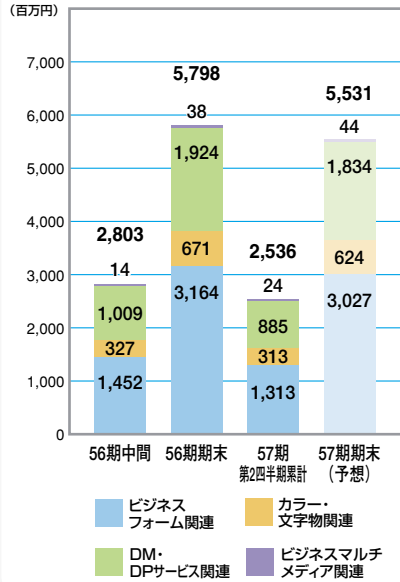
このような状況に対し、当社では新商品である「ラテックスパック」の市場投入を図り販売面の強化に努めてまいります。また、経費節減はもとより、応援体制やシフト勤務をフレキシブルに取り入れ生産

効率の向上を図っていきます。全社同一指標である付加価値生産性指標の有効活用、売価見直し等により収益改善に取り組み、業績の向上に全力を挙げて取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

製品別売上高

製品別売上高



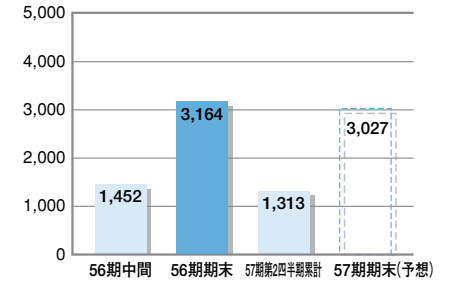
ビジネスフォーム関連

- 複写伝票などの帳票類
- 事務通信
- 情報保護はがき など



ビジネスフォーム関連は、企業のIT化進展に伴う従来の印刷需要の減少傾向に加え、米国発の金融危機による景気の急速な悪化により、事務通信DPサービスが好調に推移したものの全体としての帳票の落ち込みをカバーするにいたりませんでした。売上高は前年同期を1億39百万円(9.6%)下回る13億13百万円となりました。

売上高(単位:百万円)



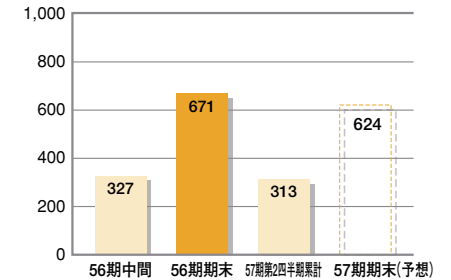
カラー・文字物関連

- 会社案内など広報系印刷物
- カタログなど販促系印刷物
- その他文字物印刷物 など



カラー・文字物関連は、景気の悪化により受注競争はさらに激化し、受注単価が下落するなど受注環境は厳しく苦戦を強いられました。売上高は前年同期を14百万円(4.3%)下回る3億13百万円となりました。

売上高(単位:百万円)



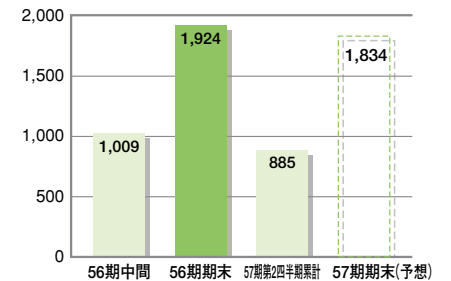
DM・DPサービス関連

- はがき型ダイレクトメール
- 封書型ダイレクトメール
- ワン・トク・ワンデープリントなど



DM・DPサービス関連は、これまで順調に推移してきましたが、期待していた当社「ならでは商品」のUDメールの大型受注が伸び悩みました。売上高は前年同期を1億24百万円(12.3%)下回る8億85百万円となりました。

売上高(単位:百万円)



福島印刷の

4分野 シナジー業態

当社はビジネスフォーム(コンピュータ用連続帳票類)を基点に、カラー印刷、ダイレクトメール、事務通信、ビジネスマルチメディアへと事業分野を拡大してまいりました。この4分野の相乗効果により、当社だからこそできる独自性(=ならでは)を追求しております。

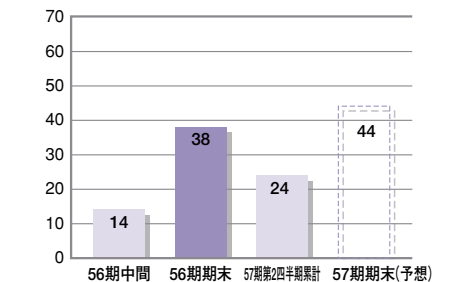
ビジネスマルチメディア関連

- ホームページ
- データベース など



ビジネスマルチメディア関連は、ホームページ、商品データベース制作等Web関連商品の企画提案活動が大型受注につながりました。売上高は前年同期を10百万円(71.4%)上回る24百万円となりました。

売上高(単位:百万円)



新しい通知、販促情報発信を実現する積層はがきソリューション『ラテックスパック』を販売開始

新技術と新設「高速フルカラーIJプリンタ^{※1}」による積層はがき処理サービス『ラテックスパック^{※2}』を開発しました。金融・自治体住民サービス、販促支援等の情報発信をタイムリーに実施できる情報発信ソリューションとして、2月23日より受注を開始しています。「ラテックスパック」は、大量製造処理される一般的な圧着（積層）はがきと違い、毎日・週単位といった多頻度の情報発信を短いリードタイムで実現し、あわせてデータ出力用事前印刷用紙の在庫ストックを必要としないフルデジタルプリントによって、コストと環境負荷の低減を実現いたします。

また、小部数、多頻度処理に伴う段取替え等のコストアップ要因を、自社開発による多種バリエーションの版面データの処理システム「フルカラーPDプリント^{※3}」により解消、連続処理を実現しています。これにより、DM（ダイレクトメール）等で市場のニーズが高まっている、宛先ごとに写真等を差し替えるワン・トゥ・ワンDMも実現いたします。標準価格は1枚15円とし、来期（平成22年8月期）売上高2億円を目指します。

※1 高速フルカラー IJ プリンタ（写真上）

大日本スクリーン製造株製 Truepress Jet520。オリジナル仕様の調整を含め昭和情報機器㈱を窓口として導入、各社のノウハウにより稼動しました。



※2 ラテックスパック（写真下）

ラテックス接着加工と必要なデータ処理を組み合わせた小、中部数の積層はがきソリューションであり、福島印刷の商品サービス名です。



※3 PD プリント

PDF (Portable Document Format. Adobe Systemsが開発したドキュメントファイル用のファイルフォーマット規格) をハンドリングする福島印刷オリジナルデータ処理システムの商品サービス名です。



「ならでは」の環境への取り組み

当社は印刷業としての特性を活かし、直接的及び間接的な環境影響を配慮するとともに、企業活動を通じて顧客への積極的な情報提供、グリーン購入及び森林資源の適切な利用と保護への積極的な参加を行います。循環型社会形成への貢献に向けて「エネルギーに対する基準」「廃棄物に対する基準」「有害物質に対する基準」を作成し、全社をあげて環境保全活動を展開しています。

【主な取り組み】

- ◎用紙歩留まり改善の取り組み
- ◎エコカラー（印刷インキの集約化）の取り組み
- ◎有害化学物質の使用量削減、代替物への切替
- ◎氷蓄熱式エアコンへの更新、夜間電力の有効活用
- ◎エコドライブの取り組み
- ◎産業廃棄物削減
リサイクルウエスの利用、廃インキ・廃のり削減



■8色に集約化されたエコインキ

ひらかれた工場（魅力的な工場視察）

委託先の監督責任が強化される中、DPサービス、事務通信サービスを受託する際には、お客様に工場監査に来社いただいております。お客様へは、ISMSやプライバシーマークといった公的認証の規格適合性部分だけではなく、日々の取り組みそのものを監査いただいております。日々の取り組みとは、当社が何を課題と認識し、どんなことを行ったか、そしてその評価と新たな課題としてどんな認識をしているかというPDCAそのものです。

取り組みを聴かれたお客様には、未熟と感じられる部分もあるかと思いますが、それが現在の当社の姿と認識した上で、お客様からの新たな気づきやご指摘を大切にしていきます。そして取り組みが完了した際には、ご報告させていただくというエンロールを成長させていくことが、長期にわたって信頼していただくために必須であると考えております。



■ 四半期貸借対照表

(平成21年2月20日現在)

科目	当第2四半期 会計期間末	前会計年度末
【資産の部】		
流動資産	1,886,421	2,259,448
現金及び預金	465,035	741,503
受取手形及び売掛金	1,059,958	1,204,834
製品	111,363	115,232
半製品	24,136	17,913
仕掛品	79,203	59,651
原材料及び貯蔵品	71,301	65,407
繰延税金資産	33,566	51,935
その他	42,598	4,054
貸倒引当金	△ 741	△ 1,084
固定資産	4,266,784	4,286,289
有形固定資産	4,056,653	4,049,523
建物	1,889,951	1,868,182
機械及び装置	1,047,727	1,141,751
土地	965,106	965,106
その他	153,868	74,483
無形固定資産	5,571	5,922
投資その他の資産	204,559	230,843
投資有価証券	69,631	87,504
その他	141,687	149,007
貸倒引当金	△ 6,758	△ 5,668
資産合計	6,153,205	6,545,738

単位:千円

科目	当第2四半期 会計期間末	前会計年度末
【負債の部】		
流動負債	1,301,595	1,461,593
買掛金	185,747	196,336
短期借入金	420,000	370,000
1年内返済予定の長期借入金	355,920	355,920
未払法人税等	7,093	108,266
賞与引当金	48,958	76,044
役員賞与引当金	6,498	13,000
その他	277,377	342,026
固定負債	1,281,732	1,376,976
長期借入金	1,089,460	1,267,420
退職給付引当金	24,716	—
繰延税金負債	47,286	52,248
役員退職慰労引当金	53,550	57,308
その他	66,718	—
負債合計	2,583,327	2,838,570
【純資産の部】		
株主資本	3,569,907	3,714,017
資本金	460,000	460,000
資本剰余金	285,200	285,200
利益剰余金	2,824,729	2,968,839
自己株式	△ 22	△ 22
評価・換算差額等	△ 28	△ 6,849
その他有価証券評価差額金	△ 28	△ 6,849
純資産合計	3,569,878	3,707,167
負債純資産合計	6,153,205	6,545,738

(記載金額は千円未満切捨)

■ 四半期損益計算書

(平成20年8月21日から平成21年2月20日まで) 単位:千円

科目	当第2四半期 累計期間	前中間会計 期間
売上高	2,536,214	2,803,666
売上原価	1,964,630	2,032,348
売上総利益	571,583	771,317
販売費及び一般管理費	629,356	649,055
営業利益(△損失)	△ 57,772	122,262
営業外収益	8,869	10,726
受取利息	500	497
受取配当金	698	753
作業くず売却益	3,685	4,411
その他	3,984	5,064
営業外費用	16,398	19,010
支払利息	16,271	18,970
その他	127	40
経常利益(△損失)	△ 65,302	113,978
特別利益	—	—
特別損失	29,516	1,326
有形固定資産除却損	173	757
投資有価証券評価損	29,342	—
貸倒引当金繰入額	—	568
税引前四半期(中間)純利益(△損失)	△ 94,818	112,651
法人税、住民税及び事業税	4,541	81,000
法人税等調整額	8,751	△ 28,955
四半期(中間)純利益(△損失)	△ 108,110	60,607

(記載金額は千円未満切捨)

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書

(平成20年8月21日から平成21年2月20日まで) 単位:千円

科目	当第2四半期 累計期間	前中間会計 期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,710	271,376
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 129,862	53,762
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 167,737	△ 207,873
現金及び現金同等物の増減額	△ 232,888	117,265
現金及び現金同等物の期首残高	617,383	475,902
現金及び現金同等物の 四半期末(中間期末)残高	384,495	593,167

(記載金額は千円未満切捨)



■ 役員 (平成21年4月30日現在)

代表取締役社長	福島 理夫	取締役	栗津 十志実
専務取締役	下 島 学	取締役	古 林 孝之
常務取締役	舘 芳 昭	常勤監査役	松 谷 裕
		監 査 役	岩 木 弘 勝

■ 会社の概要

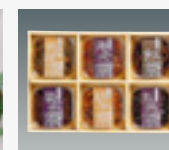
商 号	福島印刷株式会社
英 文 名	FUKUSHIMA PRINTING CO.,LTD.
本 店 所 在 地	〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地 TEL (076)267-5111(代)
設 立	昭和27年9月10日
資 本 金	4億6,000万円
従 業 員 数	388名
事 業 所	本社及び工場 金沢市佐奇森町ル6番地 富山営業所 富山市上袋715番地1 福井営業所 福井市間屋町3丁目811番地 東京営業所 東京都中央区日本橋本町4丁目5番14号 入江ビル6F 大阪営業所 大阪市中央区平野町3丁目3番8号 辻梅ビル3F 名古屋営業所 名古屋市中区金山1丁目2番2号 クマダ第2ビル5F

事業年度	8月21日から翌年8月20日まで
定時株主総会	11月
基 準 日	定時株主総会 8月20日 期末配当 8月20日 中間配当 2月20日 その他必要があるときは、予め公告して定めた日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
	●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
	●未払配当金の支払について 株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
単元株式数	100株
上場証券取引所	名古屋証券取引所
公 告 方 法	電子公告により当社ホームページ (http://www.fuku.co.jp/) に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法とします。
株主優待制度	8月20日基準日現在1,000株以上の株主を対象に、3,000円相当の自社指定特産品4品から1品を、ご希望に応じて送付。

平成20年優待品



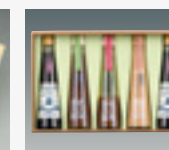
金沢五郎島金時



「十字屋」
佃煮セレクト詰合せ



能登和牛すき焼き用肉



「直源醤油」
醤油&ドレッシング詰合せ